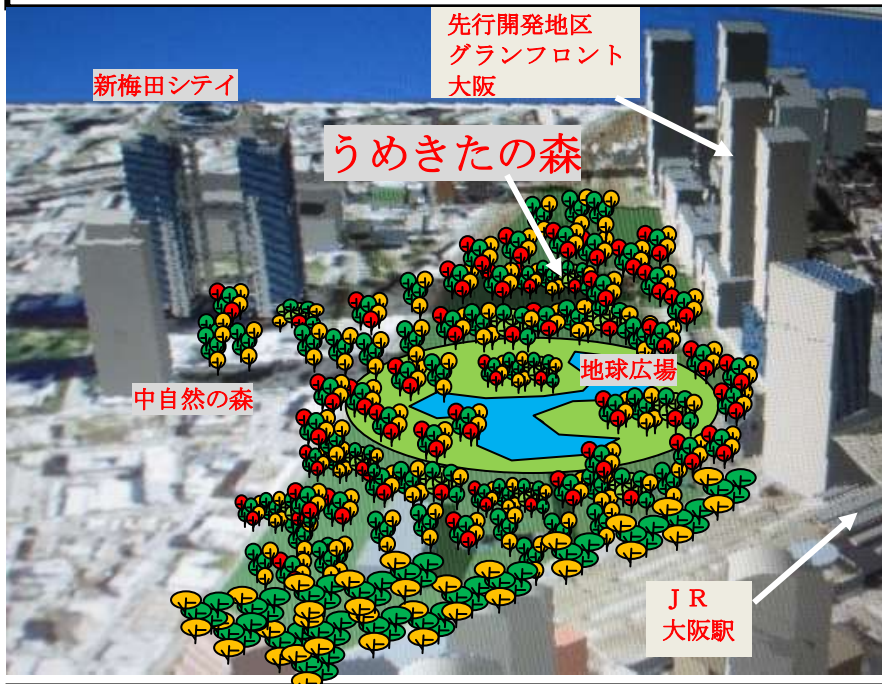


第2回大阪駅北ヤード緊急座談会と現地視察ご案内・テーマ

うめきたに森を



◇緊急座談会と現地視察の狙い

来る4月19日の最終の大阪駅周辺地域部会では、**立体緑地**と偽称した高層建築群で、2期区域の3分の2を埋めようとする土地利用案が決定されようとしています。第1回緊急会議での安藤忠雄氏提案の新梅田シテイ公開空地に設置される巨大緑化壁は、まだ撤回変更の決着がついていません。来る4月26日にオープンする先行開発区域・グランフロント大阪は、緑の少ない超過密高層ビル群となって姿をあらわしました。安全を無視した危険な都心形成を止めねばなりません。安全で快適で健康で、大阪が世界に誇れる活力ある美しい街になるためには、**うめきたに森のあるグリーンパーク**が必要です。以上のねらいのもと、大阪市への緊急アピールの報告と共に緊急座談会と現地視察を行います。是非、皆様のご参加をお待ちしています。主催者；北ヤードとその周辺の環境を考える会

1；大阪市への緊急アピール報告；吉村元男（造園家）

○緑の少ない超過密危険都市形成への反対緊急アピール

- 1；2期区域では、敷地11.5%を全面緑地に、そのうち8%を公共緑地(都市公園・防災公園・交通広場)で確保し、大阪駅側(敷地の南)に配置すること。そのために地区計画を率先して決定すること。
- 2；残り3.5%は民間開発用地(敷地の北側に配置)とし、施設が必要な場合は立体公園として段丘緑地の下部に計画し、地表はすべて人々に緑地として開放。
- 3；現在進行中の2期区域を対象とした大阪府や経済団体からなる都市再生緊急整備協議会の大阪駅周辺地域部会での、2期区域の土地利用決定を止める
- 4；2期区域全体を想定した事業コンペは中止すること。
- 5；超高層過密都市を誘因する平面、立体、スーパー立体緑地区分はやめること。

2；座談会—うめきたに森を

○討議内容と討議参加者(敬称略・アイウエオ順)

- 1)緊急アピール内容の検討。2)公共緑地をどのようにして確保するか。
- 3)土地購入資金への提言。4)うめきたの森のイメージ。
- 5)市民参加での実現化の手法。6)その他

奥村太郎（大阪弁護士会公害対策・環境保全委員会・弁護士）

坪 文子（大阪市北区住人・堂島リゾート）メッセージ参加

山崎泰孝（総合デザイナーズ協会・建築家）

吉村元男（造園家）

司会；中橋文夫（造園家）

開催日時；平成25年4月13日(土)会議13時～15時

開催場所；梅田エステート・ビル5階・ムーブメント会議室

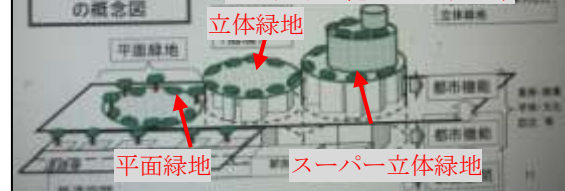
3；現地案内—会議終了後15時過ぎから17時解散（現地はグランフロント大阪・2期区域周辺視察と周辺ビルから2期区域（うめきたの森）を俯瞰します）

参加費；500円（資料代・会議室費用などに充当）（参加申し込みは下記中橋までお願いします）
協賛団体；社団法人 大阪造園業協会、社団法人 大阪市造園業協会



4月26日開業のグランフロント大阪—緑の少ないコンクリート広場と超過密な高層建築群集積都市が出現している

大阪周辺地域部会で大阪市が提言した立体緑地案—緑化という美名に隠れた高層建築



○北ヤードとその周辺の環境を考える会代表；吉村元男

携帯電話090-2118-6813；ecohabi@gaiaction.com

○事務局；中橋文夫鳥取環境大学教授

携帯電話080-4269-2813；naka-fumi@kankyo-u.ac.jp

梅田エステート・ビル5階・ムーブメント会議室
ヨドバシカメラと新阪急ホテルの間の幹線道路を北に約200m
四谷学院東側）住所；大阪市北区芝田町1-4-17
電話番号06-6377-6000